

東日本旅客鉄道労働組合青年部「第34回定期委員会」

組織破壊攻撃に屈せず、すべての運動を組織強化・拡大に傾注し、組織の存亡をかけ奮闘していくことを決定!

第34回定期委員会 スローガン

- 1. 新生JR東労組運動の破壊を許さない! 労働組合の必要性を「自分の言葉」で語り、青年部組織の再構築に向け議論を創り出そう!
- 1. 「いのち」を絶対的価値軸に「若者が将来に希望を持てる」施策を実現するための議論を創り出し、組織強化・拡大を実現しよう!
- 1. 戦争政策反対! 平和への価値感を明確にし、職場で語り広める仲間を創り出そう!



議長(左から)南遼佑(大宮)、丸山文誠(盛岡)、富田克明(秋田)

JR東労組青年部は、2019年8月27日J-A共済埼玉ビルにおいて、「第34回定期委員会」を開催しました。いかなる組織破壊攻撃にも屈せず、全ての運動を組織強化・拡大に傾注し、組織の存亡をかけ奮闘していくことを決定しました。

「青年部とは何か」を実践によって導きだそう!

福田前青年部長あいさつ(要旨)

私たちは、18春闘は「大敗北」であったと総括し、組織の存亡をかけたこの一年を振り返り組織強化・拡大に向けて奮闘することを決意して、1年が経過しました。私たちは、残り1年をどのようにして『道』を切り拓く実践をするのか明確にしていかなければなりません。私たちは、12地本青年部の総団結をめざして、全ての運動を組織強化・拡大に繋げ、現在も進んでいる厳しい『道』を前進するためにたたかい抜いていきます。

8月22日、「真実の声」の発信者(管理人)が中央執行部員の指定を受け、東京地本の特別執行委員である岡山企画部長であることが明らかになりました。本部青年部は、組織破壊者である岡山氏、「真実の声」すべての組織破壊攻撃を許さず断固たたくことを指し、指令7号に基づいて各地本青年部は、今定期委員会の議論経過を含めて議論する場を早急に作りだし、職場の隅々まで浸透させ、組織破壊を許さない体制を構築していくことを要請します。

- ・委員会での主な議論(要旨)
- ・組織強化・拡大について
- ・昨年JR東労組が信用出来なくなり脱退した。脱退後も、継続して関わりをつくらせていただき、再加入を決意した。
- ・職場で組織現実や施策への向かい方など議論しながら、再加入の実践をつくり出してきた。しかし「混乱している職場には戻りたくない」という声があるのも現状である。
- ・社員代表選は、社員代表の意義を明確にし、分会が一体となり、離脱を余儀なくされた仲間と共にたたかい、組合員数以上の票を獲得した。
- ・第34回定期委員会委員選挙に関する異議申立について
- ・ホームページに委員名簿を掲載されて、不信感しかない。
- ・異議申立について、恥じることはないし、自分たちの主張を述べただけ。
- ・内部文書・個人情報ホームページに掲載する行為は、組織を一つにすることに反している。
- ・ホームページに掲載したことは確信犯であり、組織破壊だ。
- ・「真実の声」について
- ・「真実の声」は組織破壊であり、発信者は組織破壊者である。その人を擁護する人も組織破壊者である。パソコンの貸し出しを拒否するかのような姿勢は、見られては困るデータが入っているのではないかと考えてしまう。あらゆる組織破壊、組織破壊者を許さない。
- ・新たなジョブローテーションの実施について
- ・不安しかなかった。当初は白紙撤回の方針を立てていたが、施策を担う・つくり出すと転換してきた。集会を開催し、交渉経過の説明などを行い、離脱を余儀なくされた仲間の参加を実現してきた。
- ・地本青年部として「変革2027」の集会を開催してきた。目的は働き方が変わろうとしている今、青年部から「私たちの仕事・働き方」を考え、今、今の社会の流れを受け止め、一人ひとりが自覚し将来を考えてきた。

組織破壊攻撃に屈せず青年部組織の再構築をめざそう!

藤澤事務局長総括答弁(要旨)

私たちJR東労組青年部は、12地本の総団結、組織強化・拡大を実現するために必死で取り組んできました。しかし委員会では、議長選挙や修正動議5件が提出され、非常に悔しい思いで一杯です。本来ならば組織強化・拡大の実践や教訓などを共有すべきでしたが、発言時間を削らなければいけない状況になってしまいました。

7月の中央常任委員会では、異議申立文書に虚偽が記載されていることや、委員選挙の問題が無かったと異議申立を出した青年部長から言われており、矛盾があります。また虚偽記載のある文書をホームページに掲載したことは問題です。

岡山さんが「真実の声」の発信者であったことは、非常に悔しいと同時に怒りを持ちます。それは過去のたしる選挙でのごとくあるからです。青年部は田城さんと岡山さんの雇用を守ると言い、職場で講演を頂いてきました。職場の青年部長からは「あれだけ岡山さんと呼ばうとやってきたのに裏切られた」と言われています。また調査しようとする本部執行部に対しての妨害行動や動画の撮影など、擁護していると思わせる得ない事実も発生しています。その動画が今広められているというのも事実です。異議申立時の総括がされていないとは思えません。

私たちは、目の前にある事実を受け止めなければいけないということ。それは、「真実の声」の発信者が岡山氏であり、「真実の声」は組織破壊と確認してきたこと。さらには岡山氏の行為は犯罪行為であり、組織の妨害行為であるということ。私たちはこの事実から目を背けずに、組織破壊攻撃と断固たたかっていきます。

JR東労組青年部は、「一系統別意見交換会」を継続して開催していきます。離脱を余儀なくされた仲間からは「脱退してしまえば施策の議論や内容が分からない」「組合の掲示板やホームページで情報を得ている」ということが言われています。私たちは離脱を余儀なくされた仲間にも施策についての議論を創り出していきます。

中央常任委員会や定期委員会で問題意識や組織破壊だという発言が出されているにも関わらず、定期委員会で東京・水戸・八王子地本青年部からは反省や謝罪などは一切ない!



- 新体制**
- 青年部長 藤澤 将次 (さいたま車掌区)
 - 副部長 小金淵 将 (盛岡運輸区)
 - 事務長 武田 太希 (八戸運輸区)
- 福田前青年部長**
長い間、大変お疲れさまでした。

- 修正動議5件は全て否決されました!**
- ①議事に関する追加動議 【反対37 棄権0 賛成22】 否決
 - ②「2020春のたたかひに関する」修正動議 【反対37 棄権0 賛成22】 否決
 - ③「不当労働行為撲滅」に関する修正動議 【反対37 棄権0 賛成22】 否決
 - ④レク・サークル活動に関する修正動議 【反対37 棄権0 賛成22】 否決
 - ⑤「業務課題」に関する修正動議 【反対37 棄権0 賛成22】 否決

- 確認事項**
- スローガン【反対0 棄権0 賛成59】 可決
 - 一般経過報告 【反対0 棄権0 賛成59】 可決
 - 2018年度会計報告 【反対0 棄権0 賛成59】 可決
 - 2019年度活動方針 【反対22 棄権0 賛成37】 可決
 - 2019年度予算 【反対0 棄権0 賛成59】 可決
 - 委員会宣言【反対1 棄権0 賛成58】 可決

「青年部とは何か」を今一度、一人ひとりが自らのものにして実践していこう!